

道路案内標識にあなただの声を！

「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」 の提言素案に対する意見募集のお知らせ

道路案内標識は、道路交通の安全と円滑を確保するために重要な施設であり、適切な設置・管理が必要です。

また、国際化や高齢化といった社会の変化、利用者ニーズの多様化などにより、わかりやすい道路案内標識の整備は、今後いっそう重要な課題となります。

そこで、平成16年6月に設けられた「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」における議論により、道路案内標識のあり方に関する提言素案が作成されました。

ただいま、みなさまにこの提言素案をご紹介しますとともに、ご意見を幅広く募集しております。

こちらをご覧ください。

■ <http://www.mlit.go.jp/road/sign/kentoukai/index.html>



案内標識の3つの理念

User Oriented

ユーザー重視・顧客志向

- 世の中の変化やそれに伴うニーズの変化を受けて、ユーザーにとって真に必要な標識となっているか



- ユーザーが本当に知りたい情報が何であるかを考え、「ユーザー重視」「顧客志向」の立場に立った標識のあり方の検討が必要



System-up

システム・体系性の充実

- 現在の道路案内標識に最も欠けているのは「体系」「システム」



- 「どこに (Where)」「何を (What)」「どのように (How)」提供するかのルールを確立
- 情報提供の基本要素である「指示 (Direction)」と「同定 (Identify)」の双方を確保



Management

標識のマネジメント

- 上記の内容を実際の道路案内標識へ反映していくことが最も重要



- 個別の取組を実現するためのルールと手順を、ガイドライン等で明確化
- 進行管理と達成状況の評価、公表
- PDC Aサイクルによるチェックを行いながら確実に実行



国土交通省道路局企画課

03-5253-8111 (内線37562)

**10月1日～7日は
全国道路標識週間です。**